



## おしゃべり広場「ひだまり」出前交流 IN 気仙沼 ～ふるさと元気づくりパワーアップ事業～



大館市生涯学習課



出会いのひととき〈10/17 本吉公民館〉

子育て支援を通して東日本大震災の被災地との親睦を深めることを目的に始めたこの活動は、4年を経過した現在もボランティアグループや中・高校生の協力によって続けられている。

年間4回の交流を予定し、コーディネーターの高橋秀一氏が事前に気仙沼の公民館や児童館と打合せを行い、訪問先の要望に応じて活動メニューを企画している。第1回の本吉公民館での交流には約30名の親子が集まり、その中にはこの交流会を毎年楽しみにして来るリピーターの親子もいた。

大館市側の訪問者には中・高校生も含まれ、自ら準備してきた材料でマラカス風の楽器作りを指導したり、手品を得意とする生徒が「マジックショー」を披露したりして活動を盛り上げた。また、「美味しい珈琲の入れ方」や「ステンシルアートで小物作り」では母親が夢中になり、楽しい子育ての一時を過ごした。

帰りの車窓からは、変化する被災地の現状を知ることができた。インフラ整備が進み、建物や車両の数も急増し、被災前の生活を少しずつ取り戻しつつある今、この活動も支援の域を超えた地域交流に発展しつつある。



楽器(マラカス)作り



ステンシルアート



大盛況の高校生による「マジックショー」

◆平成二十七年交流内容一覧◆

日時	主催・会場	メニュー
10月17日 10:00 ～12:00	本吉 公民館 	アイスブレイキング(出会いのひととき) 【子】手作り楽器で遊ぼう 【親】美味しい珈琲の入れ方 ステンシルアートで小物作り クールダウン(マジックショー)
10月31日 10:20 ～12:00	鮎立 児童館 	アイスブレイキング(出会いのひととき) 【子】ステンシルアートで小物作り 【乳幼児・親】音楽で遊ぼう→美味しい珈琲の入れ方 親子でクッキング(焼きたまご) クールダウン(絵本の読み聞かせ)
11月21日 10:00 ～12:00	小泉 公民館 	アイスブレイキング(出会いのひととき) 親子でクッキング(かまぶく) 【子】ゲームで遊ぼう 【親】アロマハンドトリートメント かまぶく いただきます～す! クールダウン(絵本の読み聞かせ)
11月28日 10:00 ～12:00	大谷 公民館 	アイスブレイキング(出会いのひととき) 親子でクッキング(かまぶく) 【子】大型バルーンで遊ぼう 【親】美味しい珈琲の入れ方 ステンシルアートで小物作り クールダウン(絵本の読み聞かせ)

# 「僕たち、私たちの 思い伝え、願い語りたい」 伊勢堂岱遺跡 ジュニアシンポジウム



10月25日(日) 10:00~12:00 北秋田市文化会館 北秋田市生涯学習課 鷹巣地方史研究会

この催しは文化祭協賛イベントとして、北秋田市の生涯学習課文化係と鷹巣地方史研究会が共催で開いたもので、小学生から高校生までのジュニアボランティアが参加して地元の史跡に寄せる想いを発表した。



伊勢堂岱遺跡は、北秋田市脇神にある縄文時代後期前半の遺跡で国の史跡に指定され、現在北海道から北東北の18の縄文遺跡群と共に世界遺産登録を目指している。

既に活動中のワーキンググループ会員25名に、今年から活動が始まった『伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティア』27名が加わり、この夏には事前研修を行った上で特別公開期間にガイドデビューを果たした。

この日は代表11名が発表し、「新しい知識を知ることによって喜びを感じている」「ガイドブックにはない自分なりの言葉

で心を込めて伝えるようにしている」「活動を通して縄文の人々の温かい心、絆や和を感じることができた」などの感想や「学校の仲間と協力してパンフレットを作る」「伊勢堂岱遺跡を学校の教材に取り入れてもらう」「お店や施設でポスターコンクールを開く」などのPR作戦も提案された。

今年には遺産登録に至らなかったが、ガイダンス施設、組織、活動が充実してきたことで、今後の登録に向けての手応えを感じることができた。



県内外からの来場者約250名への特別公開



伊勢堂岱の四つの環状列石



登録を目指している縄文遺跡群



## 杉山亮氏による「ものがたりライブ」 県北地区読み聞かせボランティア等研修会

秋田県教育委員会

11月4日(水) 10:25~12:30

鹿角市立花輪小学校

県北地区の読み聞かせに関わっているボランティア等を対象に、読書活動の充実と活性化を図る研修会が花輪小学校の体育館で開催された。

杉山亮氏を招いての研修Ⅰでは、関係者31名に加え、3・4年児童約150名、教職員・保護者が参加してライブを体験した。杉山亮氏は、保育士やおもちゃ作家を経て、現在は児童書・絵本作家として、全国各地で「ものがたりライブ」や「おもちゃ箱フォーラム」を開催している。

この日は、閻魔大王の天国と地獄を決めるお裁きや神社の貧乏くじなどを題材にしたお話に言葉遊びを加えながら、物語のおもしろさ、人の話を聞くことの楽しさを伝えてくれた。

ライブ後の協議では、鹿角の昔話に力を入れている「おはなレクヨン」から実践発表があり、その後は講師を囲んでボランティアや小学校の読み聞かせグループから様々な悩みや質問が出された。

講師の経験を生かした貴重なアドバイスがあり、今後の活動の参考にすることができた。



研修Ⅰ ものがたりライブ



研修Ⅱ 情報交換会